



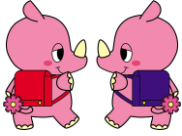
原っ子つうしん

令和5年

9月5日（火）

印西市立原小学校

校長室便り〈第5号〉



＜学校教育目標＞

人間性豊かな、考え行動できる心身ともにたくましい子どもの育成

～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～



9月1日、長かった夏休みが終わり、原小学校に元気な子どもたちが戻ってきました。1名の転入生を迎え、全校児童1,179名での第2学期スタートです。どの学級からも夏休みの楽しかった思い出や、頑張った経験談などを発表する声が聞こえてきました。目を輝かせて話をする子どもたちの様子から、充実した夏休みを過ごしたことがよくわかりました。

＜目には見えない大切なもの＞

先週の2学期始業式で、私は以下のように児童に話しました。



原小学校の皆さん、42日間の夏休みはどうでしたか？楽しかったことや嬉しかったことはありましたか？私は今、とても嬉しいです。なぜかというと、原小の子どもたちは1,000人以上いますが、大きな病気や怪我をした人は一人もいなくて、こうして元気なみんなと今日会えたからです。テレビのニュースや新聞などで知っている人もいると思いますが、全国には夏休みに海や川などの水の事故で亡くなってしまった人がいました。本当に辛くて悲しい出来事です。命は一つしかありません。そして、それは自分だけのものではありません。ですから、どんなことがあっても大切にしていかなければなりません。

今からちょうど100年前の今日、1923年9月1日に「関東大地震」がありました。その地震によって多くの方が亡くなりました。地震はいつどこで起きるかわかりません。地震が起きた時、もしかしたら、近くに誰もいないかもしれません。その時、自分で自分の命を守らなければなりません。来週、避難訓練があります。放送や先生の話真剣に聞き、どうしたら良いか、よく考えて行動してください。

さて、夏休み前に、私が話したことを覚えていますか？「何事にもこつこつと取り組むことが、成功させるための秘訣です。夏休みに、何か一つ、こつこつと取り組んでみてください。」という話をしました。2学期は、校外学習をはじめ、様々な行事や取組があります。普段の学習はもちろんのこと、一つ一つの行事や取組に、本気で真剣に向き合ってほしいと思います。そうです。私が大好きな言葉の一つである「一生懸命」です。「一生懸命」はとてもかっこよく、見ている人に感動と勇気を与えます。たとえ失敗しても負けたとしても構いません。目標に向かって真剣に一生懸命取り組むことが、その人の人生を豊かなものにしてくれます。今年の全国高校野球、甲子園球場での決勝戦で、負けてしまった野球部監督の話の中に「人生は敗者復活戦です。」という言葉がありました。「敗者復活戦」という言葉の意味がわからない人は、あとで友だちや先生に聞いてみてください。

それでは、皆さん、大切なものなのに、目には見えない「いのち」、「いっしょうけんめい」、「おもしろい」を大事に思い、毎日こつこつ頑張って学校生活を送ってください。

教職員も一丸となって「真剣に」教育活動に向き合い、子どもたちとともに、「感動」を共有できるよう指導にあたってまいります。今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。